

9月4・5日	西白河郡矢吹町中央公民館	108名
11月14日(前期)	相馬市公民館	180名
11月22日(後期)	相馬郡飯館村 生活改善センター	
(高校PTA)		
7月13・14日	二本松市文化センター	98名
9月4・5日	県立安積女子高等学校	73名
9月13・14日	県立会津工業高等学校	130名
11月7・8日	県海浜青年の家	92名
11月15・16日	いわき市文化センター	250名

(3) 講 師

東北大学教育学部教授	小林 政 吉
〃 教授	宮 川 知 彰
〃 助教授	細 谷 純
群馬大学教育学部助教授	萩 原 元 昭
香川大学教育学部助教授	安 原 昇
福島大学教育学部教授	堀 口 知 明
〃 助教授	庄 司 他人男
郡山女子大学助教授	小 森 澄 憲
桑折町教育委員会教育長	遠 藤 伊 雄
前会津若松市教育委員会教育長	桜 木 甚 吾
国立須甲子少年自然の家事業課長	内 田 忠 平

(4) 助 言 者

県教育庁社会教育主事、指導主事、管理主事、小・中・高校長・同教頭、市町村教育委員会社会教育担当者、学識経験者

(5) 研究協議内容及び方法

① 研究主題

「青少年の健全育成をはかるため、PTA地域活動はどうあればよいか」

② 研修内容・方法

- ア 講義、分散会討議、シンポジウム・フォーラム
- (ア) 家庭教育を充実するためのPTA主催事業のあり方
- (イ) 機関紙(誌)の発行のあり方
- (ウ) 夏季休業中の臨海・林間学校やプールにおける水泳指導などPTA活動のあり方(小・中PTA)
- (エ) 高校生の自主性に基づく奉仕活動等、社会参加の促進策(高校PTA)

イ 講 演

「現代の家庭、学校、社会における教育上の課題」

(6) 日 程

9:30		10:10		12:00		14:30		16:10	
開 会 式	オリ エン ション	講 演	昼 食	(1) 講 義	(2) 分 散 会(Ⅰ)				
9:30		10:50		11:00		12:20		13:20	
分 散 会(Ⅱ)	休 息	分 散 会(Ⅲ)	昼 食	全 体 会 議 (シンポジ ウム・フ ォーラム)	全 体 指 導	全 体 指 導	閉 会 式		
9:30		10:10		12:00		14:30		16:10	

3 成人大学講座

(1) 趣 旨

県内の高等学校・公立短期大学等の専門的教育機能を活用して、地域の成人層の文化的欲求の高まりに対応する一般的教養、または、専門的知識・技術に関する学習の機会を拡充する。

(2) 開設期間・開設校・講座内容・受講者数

開設期間	開設校	講座内容	時間数	受 講 者 数
9月16日 ～12月9日	福島県立福島女子 高等学校	郷土の歴史 —福島県の歴史—	28時間	53名
10月12日 ～12月15日	福島県立船引高等 学校	栄養と料理	24時間	84名
11月25日 ～12月2日	福島県立白河農工 高等学校	これからの新しい農 業技術	24時間	35名
9月30日 ～11月18日	福島県立会津短期 大学	暮らしの中の食品と栄 養	24時間	48名
8月9日 ～8月22日	福島県立田島高等 学校	郷土の園芸	24時間	35名
10月14日 ～3月28日	福島県立相馬農業 高等学校	市民のための食生活 講座	27時間	50名
9月30日 ～12月16日	福島県立平商業高 等学校	簿記・会計	24時間	30名

4 成人教育研究協議会

(1) 趣 旨

PTAの目的である「子どもの健全な成長」を実現するためには、PTAが本来の目的に向かって活発な学習活動や実践活動の展開が望まれている。このときにあたり、県内PTAの実態を正しくは握し、PTAの健全な育成・発展の資料を作成し、成人教育の振興に資する。

(2) 研究協議会委員

氏 名	所 属・職 名
堀 口 知 明	福島大学教育学部教授
植 田 稔	福島市立飯坂小学校長・(兼)県公立幼稚園長会長
村 田 和 夫	いわき市立湯本第一中学校教頭
前 川 善 明	福島県立川俣高等学校教頭
石 川 義 一	福島県PTA連合会長
佐々木 善 男	福島県高等学校PTA連合会長
菅 野 久 俊	福島県社会教育委員・福島市PTA連合会長
星 陽 子	喜多方市立第二中学校PTA連合会長
太 田 隆 夫	福島市教育委員会指導係長
栗 原 章	福島市中央公民館係長
山 倉 行 雄	福島県教育庁県北教育事務所社会教育主事
笹 沼 庸	〃 県南教育事務所社会教育主事
佐 藤 保 太 郎	〃 社会教育課主幹
神野藤 忠 吉	〃 〃 主任社会教育主事
佐 藤 巖	〃 〃 社会教育主事

(3) 事業内容

① 研究主題

PTAの調査研究を行い、PTAのよりよい活動を促進するための資料を作成する。